資料02

平成26年度　第2回

石狩市地域公共交通会議

【浜益区の都市・交通情勢、バス交通の課題】

日時：平成26年12月9日　13：30～

場所：石狩市役所　4階　403会議室

石狩市地域公共交通会議　目次

1. 石狩市の地域の現状

■石狩市の人口 ･･･ 1
■石狩市浜益区の現状及び課題 ･･･ 3
■石狩市浜益区の人口密度分布 ･･･ 4
■石狩市浜益区の高齢者人口密度分布 ･･･ 5

2. 浜益区のバス交通の現状

■浜益区のバス路線 ･･･ 6
■浜益区のバス交通に係る費用及び利用者の推移 ･･･ 7

1-1 石狩市の人口

▼人口減少の進行

・石狩市の人口は、平成17年までは増加し、6万人を上回っていたが、平成22年には減少に転じている。
60,104人(H17)⇒59,449人(H22)
・**将来的にも減少**が予測されている。59,449人(H22)⇒54,827人(H37)

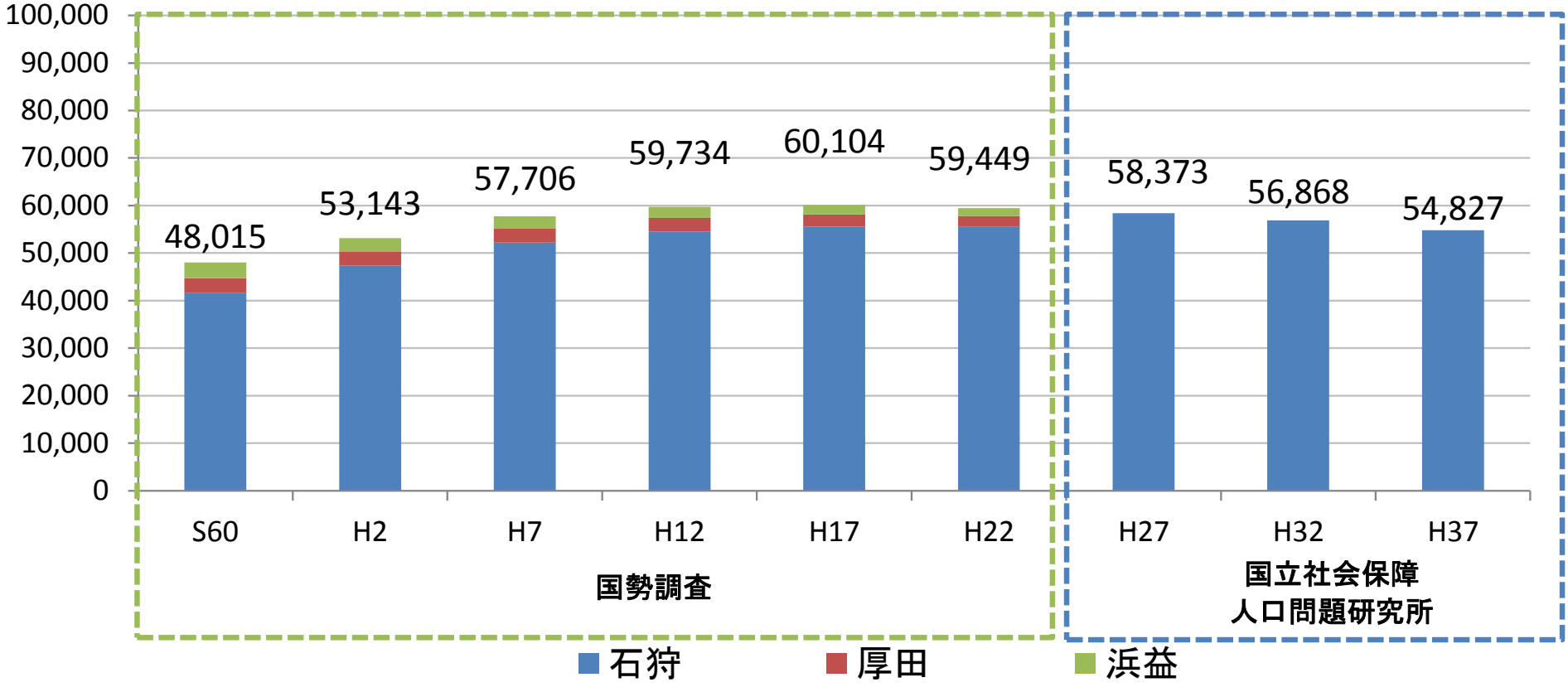
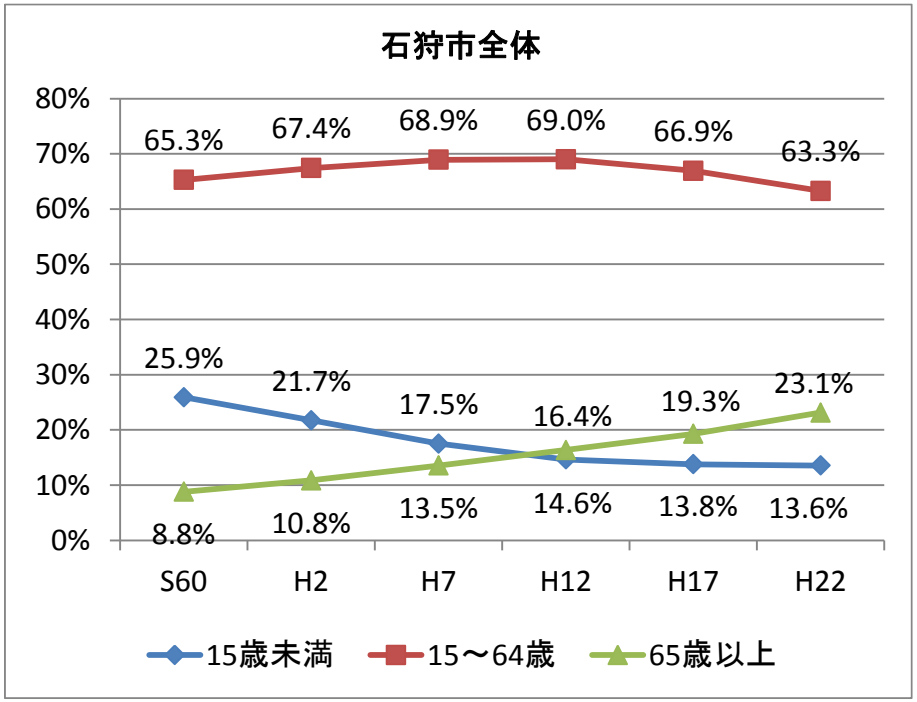


図1　石狩市の人口の推移

1-1 石狩市の人口

▼高齢化の進行

・石狩市全域において生産年齢人口（15～64歳）と年少人口（15歳未満）の割合が減少している一方、高齢化率は**増加**しており、**その後も増加**が予測されている。
・浜益区では生産年齢の割合（H22：42.6%）を老年人口の割合（H22：49.4%）が上回っており、**市内でも特に高齢化が進んでいる地域**である。



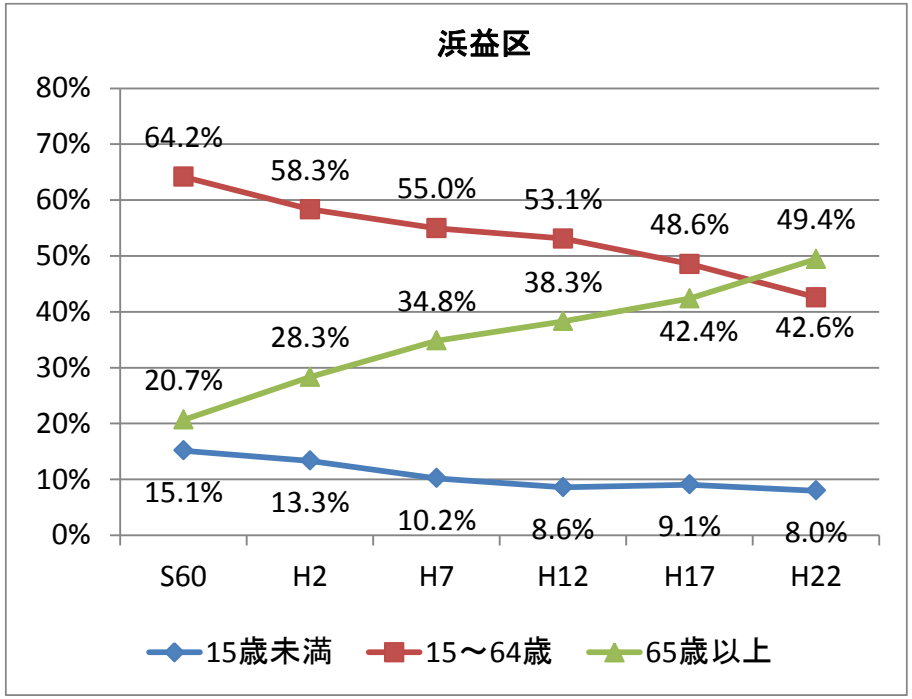


図2　石狩市全体及び浜益区の年齢階級別人口割合の推移

⇒高齢化社会における交通弱者への支援が必要

1-2 石狩市浜益区の現状及び課題

▼浜益区浜益、川下、柏木に支所、学校、診療所、商業施設が点在している。
⇒**交通弱者にとって主要施設へ行くことが困難な地域**である。

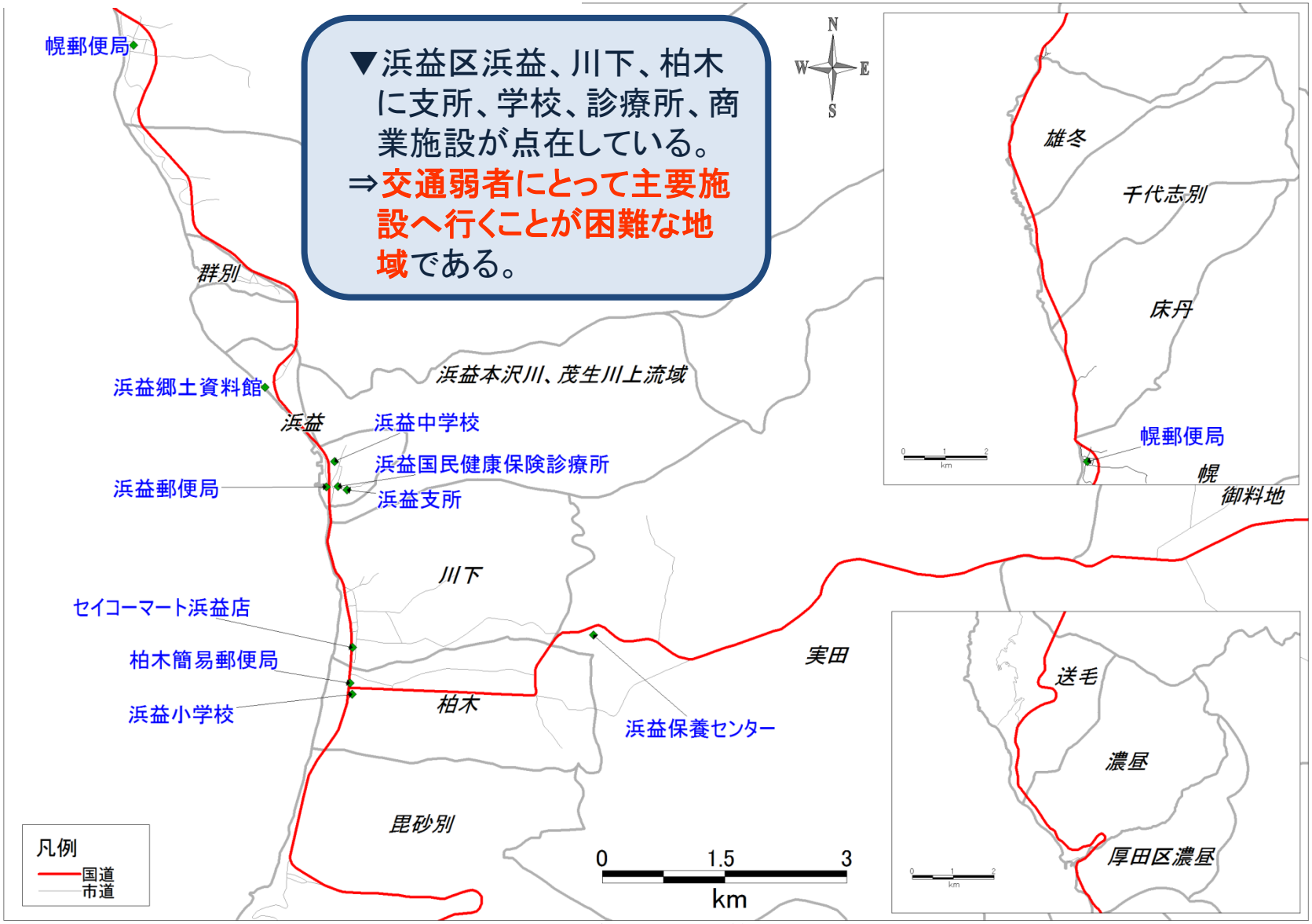


図3　石狩市浜益区の主要施設の立地状況

1-3 石狩市浜益区の人口分布

・浜益区の人口は**浜益、川下、柏木が比較的多い**。
・区内の移動は**公共交通によって行うことが可能**であり、路線としては充実している

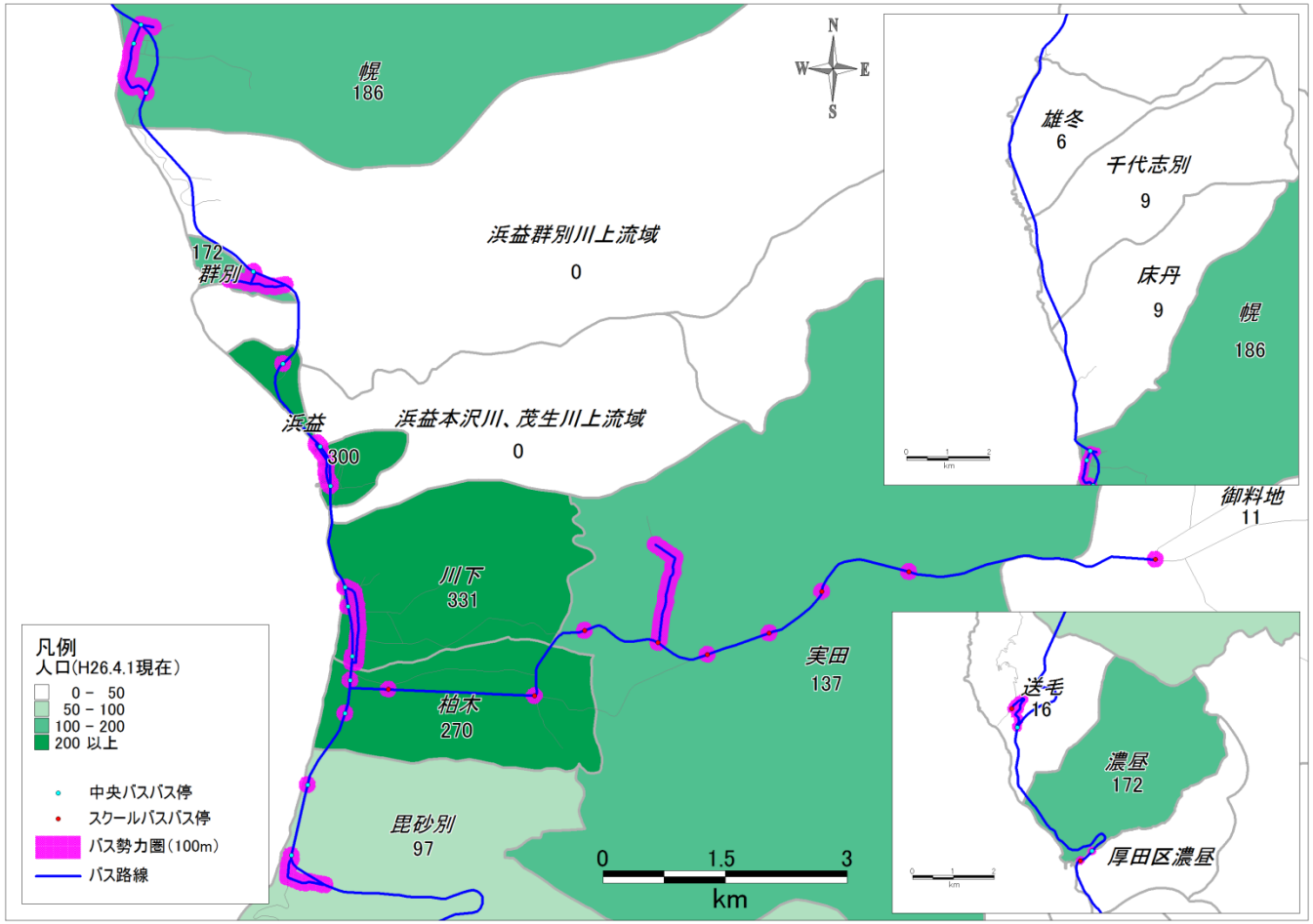


図4　石狩市浜益区地図（人口）

バス停勢力圏とは
　自宅からバス停までの距離を**無理なく歩ける範囲（100m※1を設定）**

※1高齢者（歩行速度40m/分）の90%が抵抗感を感じない時間を3.5分としており、これを距離に換算すると、
「3.5(分)×40(m/分)=140(m)≒100(m)」
となる。

資料：人口は住民基本台帳

1-4 石狩市浜益区の高齢者人口分布

・高齢者人口は**川下を中心として、浜益、幌、柏木が多い**。
・人口分布と大きな差は見受けられない。

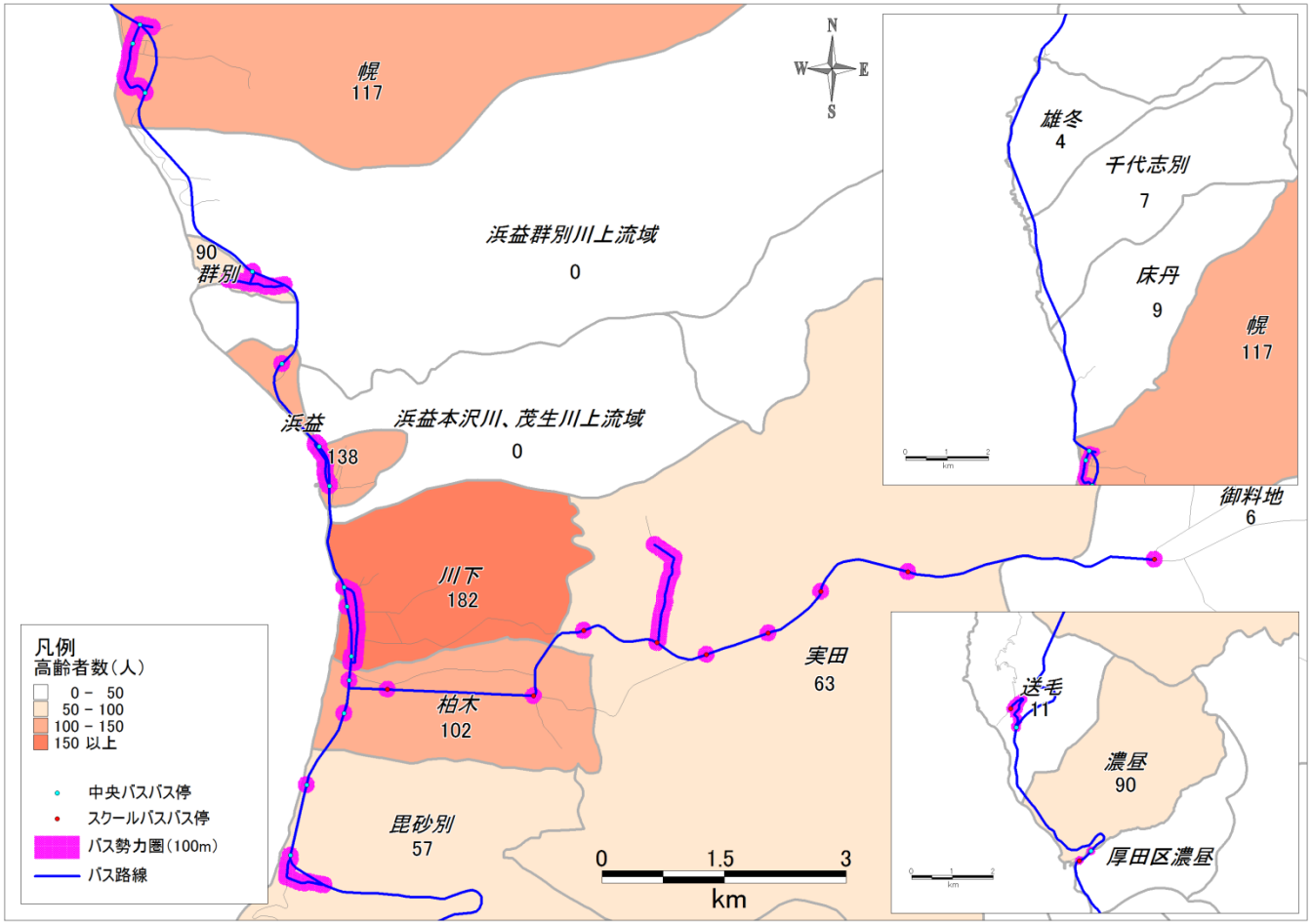


図5　石狩市浜益区地図（高齢者人口）

バス停勢力圏とは
　自宅からバス停までの距離を**無理なく歩ける範囲（100m※1を設定）**

※1高齢者（歩行速度40m/分）の90%が抵抗感を感じない時間を3.5分としており、これを距離に換算すると、
「3.5(分)×40(m/分)=140(m)≒100(m)」
となる。

資料：人口は住民基本台帳

2-1 浜益区のバス路線

【浜益区を運行する公共交通】

区分	路線名等	運行主体	運行形態等	１日当たり利用者数 （１日当たり運行便数）	特記事項
バス	①札幌浜益線	中央バス	１日往復１便	5.65人/日 （2便/日）	都市間、有償
	②特急はぼろ号	沿岸バス	１日往復１便	非公表	都市間、有償
	③スクールバス	石狩市 （委託先：北海道東急ビルマネジメント）	登校１便、下校４便 （月曜日～金曜日） その他日中の曜日運行	23.27人/日 （12便/日）	一般混乗有 (有償：200円)
	④浜益滝川間乗合自動車	石狩市 （委託先：北星交通）	月～金曜日の予約制	7.42人/日 （2便/日）	浜益区内の移動は不可 特種運賃
タクシー	―	タクシー事業者	―	―	休止中

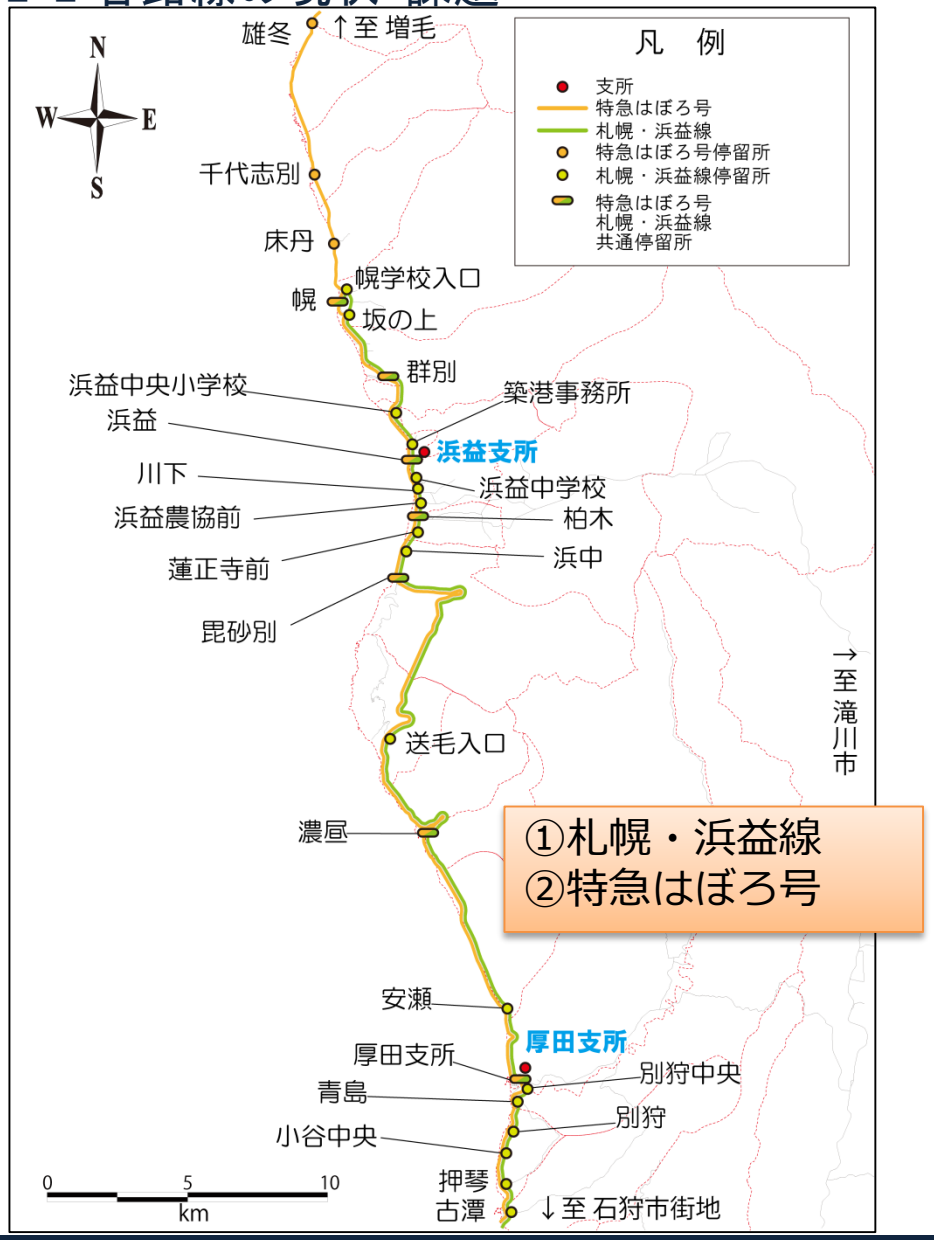
札幌浜益線の赤字補てん額が年々増加

区内の生活関連施設が点在

区内の公共交通による移動はスクールバスの一般混乗が中心

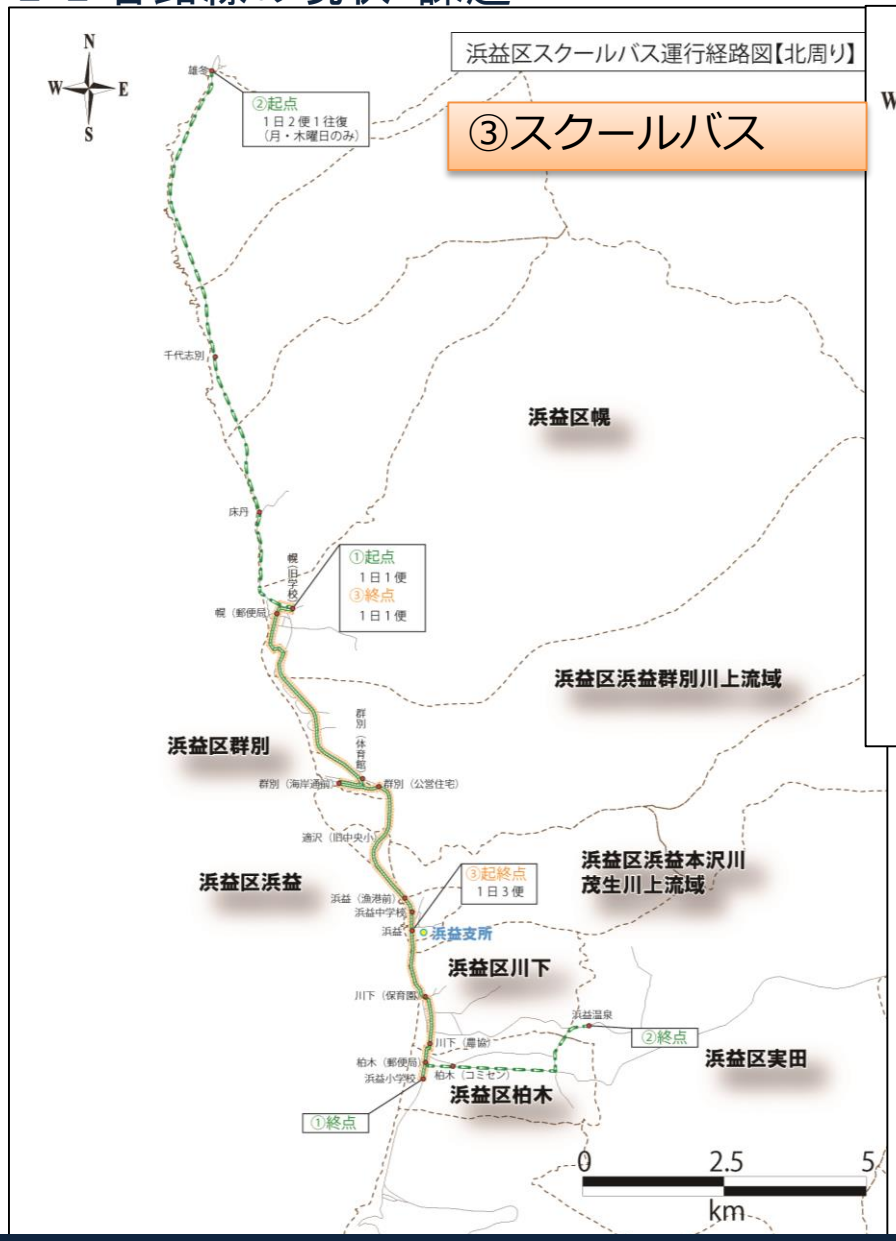
区内で営業するタクシー事業者がいない

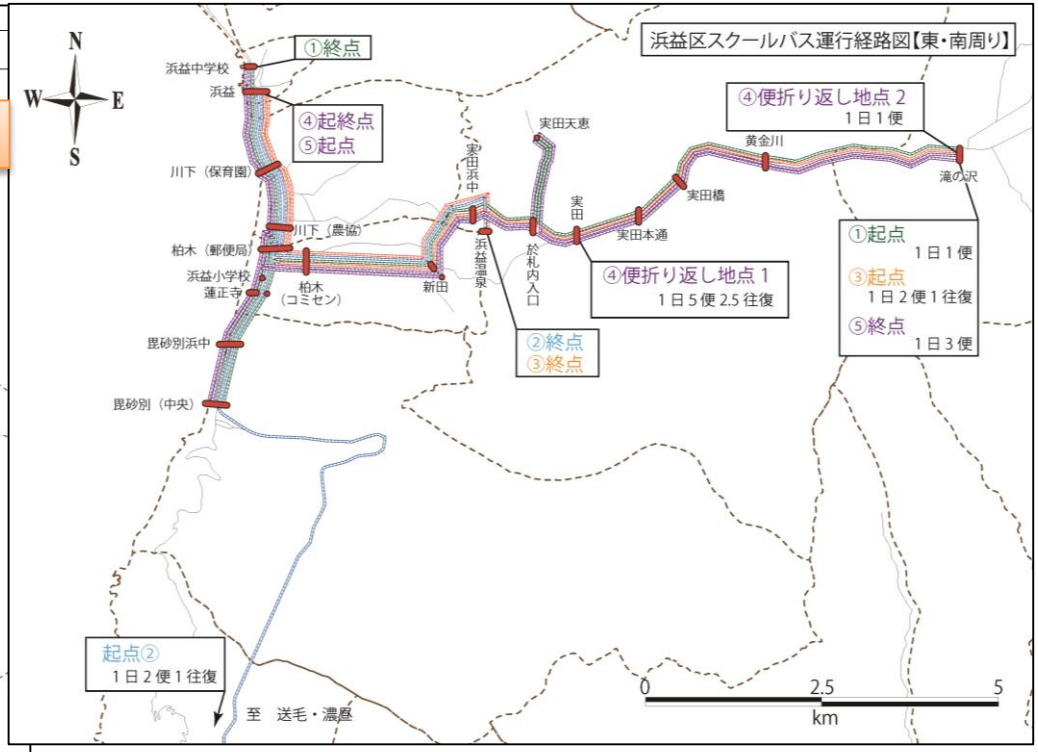
2-2 各路線の現状・課題



- いずれも都市間幹線であり、国道２３１号を通行している
- １日１往復のみ運行であり、**住民ニーズと必ずしも合致していない**ために、利用者数が減少している
- **国道沿線以外の住民には不便**な状況である

2-2 各路線の現状・課題

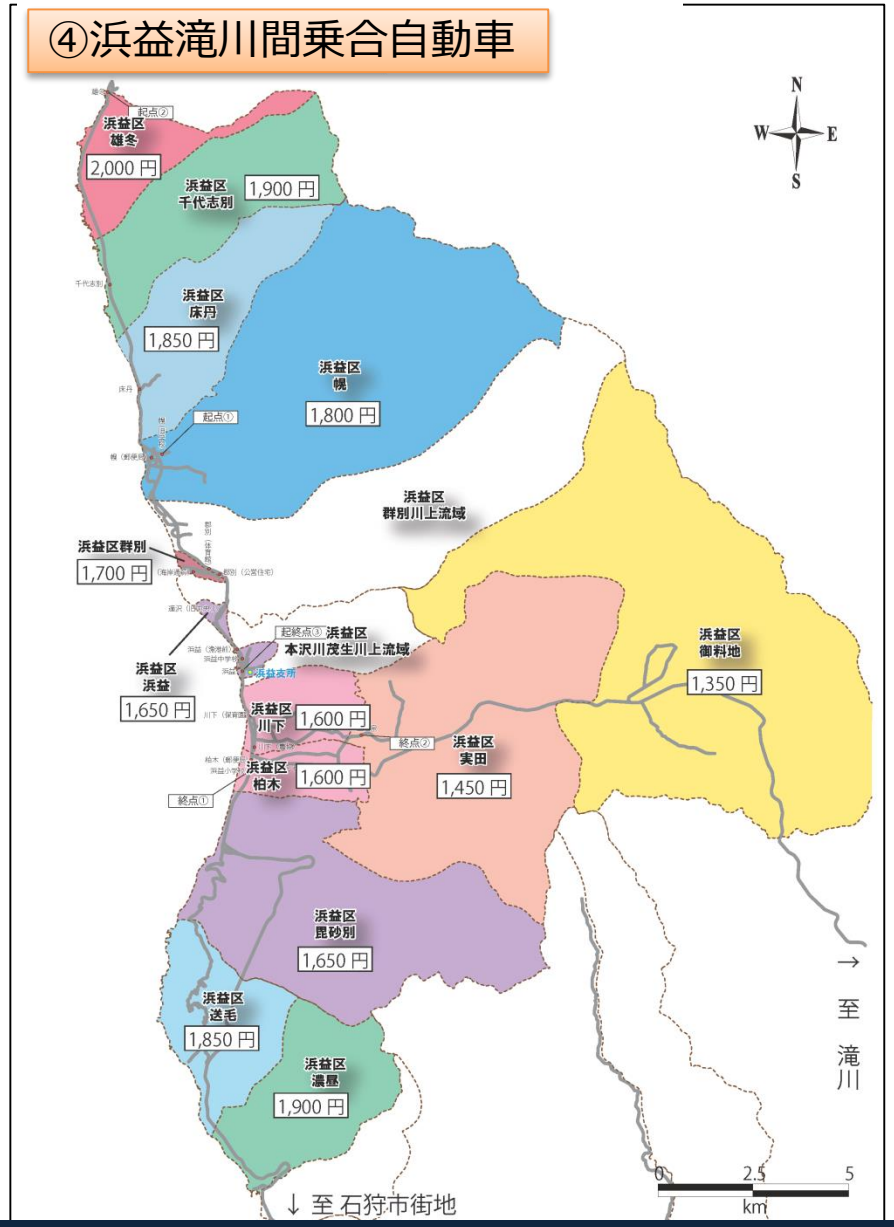




- スクールバスは**一般混乗として区民の足を支えて**いる
- 一方で、車両が大きく、**宅地の前まで乗り入れることが困難**な状況である
- 定時定路線であるために、**高齢者の生活スタイルとは必ずしも一致していない**

2-2 各路線の現状・課題

④浜益滝川間乗合自動車



- 浜益と滝川を結ぶデマンド型乗合タクシーであり、**滝川市内の主要性施設を利用する場合**には**利便性の高い路線**である
- 上記以外の目的には利用することが出来ない
- **利用者数は年々減少**している

2-3 浜益区のバス交通に係る費用及び利用者の推移

・石狩市が浜益区のバス交通の確保維持に要している経費は年々増加傾向
（H21：19,403千円⇒H25：23,760千円）
・乗合自動車及びスクールバスの利用者数は約3割減少

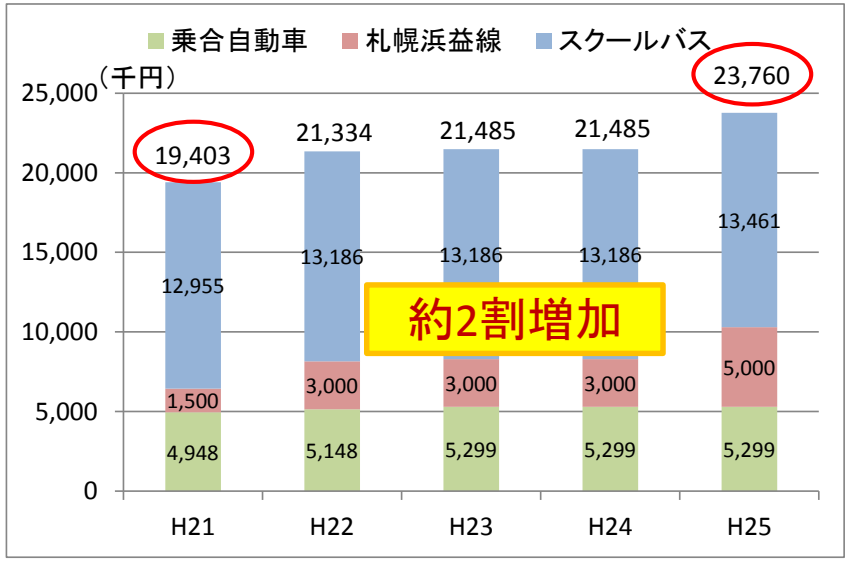


図6　浜益区のバス運行経費の推移

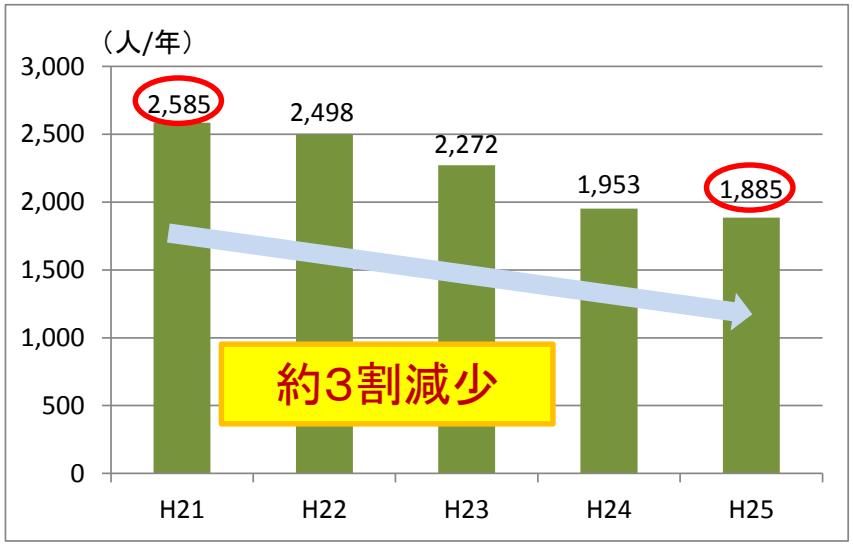


図7　乗合自動車の利用者数の推移

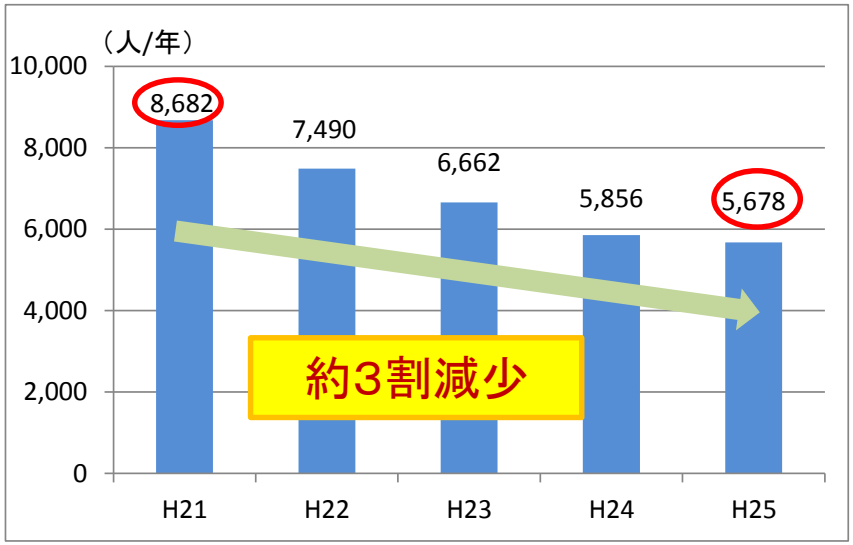


図8　スクールバス利用者数の推移